

# 「学び合い」「支え合う」

## 越前市武生第六中学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ) 9日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	5人
授業ボランティア(含:低ボラ)	人
登下校支援ボランティア	640人
その他(JICA 原電 男女共同参画)	7人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「 ふるさと教育 」

#### 【大菊づくり】

本校では毎年、全校生徒が一人一鉢ずつ大菊づくりに取り組んでいる。30年以上続くこの活動を通して、生徒の心の育成を図り、より良い校風と伝統作りをしていこうとする心情と、本校への愛校心や郷土への愛着を育てたいと考えている。

この生徒が育て、美しく咲いたたくさんの菊は校舎内外に飾られ、生徒と教師、来校者の目を楽しませてきた。そしてお世話になっている地域の方に喜んでいただきたいという願いから、総合的な学習の時間に体験や交流をさせていただいている保育園や、特別養護老人ホームなどの学校近辺の施設に依頼して、その玄関に飾らせていただくようになった。最近では「愛星保育園」「特別養護老人ホーム第2和上苑」「JR王子保駅」「王子保公民館」などに飾らせていただいている。地域の方や卒業生からのコメントが寄せられ、生徒の励みにもつながっている。

各種作業や毎日の水やりを通して、自分の菊に対する愛着を深め、意欲的に取り組む生徒も増えてきているが、大菊づくりは、長期間丁寧な世話をすることが必要であり、時には枯らせてしまう生徒もいる。そのため、特に鉢上げや、支柱立てなどの時に、経験豊富な地域の菊名人をゲストティーチャーとしてお招きし、ご支援やご指導を受けながら行なっている。また、夏休みや休日の水やりでは、PTAの方も「学び合い、支え合う」の精神で、子どもたちのためにご協力くださり、時には親子で水やりをする姿も見られた。

地域・学校協議会では、ゲストティーチャーの紹介などで協力していただき、温かく見守っていただいている。



#### 【成果と課題】

大菊を育てるための準備や世話は大変だが、自分が苦勞して育てた大菊が見事に咲いた様子を見た時の表情からは感動と喜びを読み取ることができる。簡単ではない大菊づくりだが、地域の方との連携を大切にしながら、ふるさとの伝統である大菊づくりを通して、生徒の心と誇りも育まれてきている。次年度学習指導要領の実施に伴い、時間の確保が難しくなるが、伝統を引き継ぎながら郷土を愛する気持ちを育てるため、継続していきたい。

